

Next Echizen Wakasa Stage

NEWS ふくい

福井県広報誌

2026年2月号

特集

・夢と希望・ふくい愛を育む学び

・ふくい千年文化

《奥越に春を呼ぶ奇祭 勝山左義長まつり》



県内の楽しい公共施設をご紹介します!

教育博物館 (坂井市春江町江留上緑)

教育の歴史や福井ゆかりの教育者を紹介しています。昭和の教室を再現した「なつかしの学び舎」や県内小中高校の校歌を聴けるコーナーもあり、子どもから大人まで楽しめます。

写真の中に隠れている
はぴりゅうを探そう!



答えはデジタルブックに!

県広報誌「NEWSふくい」をチェックして
ふくいはぴコインをゲット

ラストチャンス!!



いますぐ
参加しよう



応募期間
2/21±
まで

キャンペーン応募条件①

県公式LINE、X、Instagram
いずれか1つをフォロー



LINE「福井県」



X
「福井県広報広聴課」



Instagram
「ほやほや福井」



キャンペーン応募条件②

広報誌デジタルブックに
掲載された「はぴワード」
を集めて応募!

詳しくは
こちら→



夢と希望・ふくい愛を 育む学び

豊かな心を育成する

ポジティブ教育

子どもたちの学力・体力が全国トップクラスの福井県。実は、自己肯定感や学びに向かう力も高い傾向にあります（図1、2）。

子どもたちが自ら幸せを創り出す力を育む「福井県版ポジティブ教育プログラム」は、令和2年度から県内の学校で実践されています。このプログラムは、「ソーシャルスキル教育」「ピア・サポート活動」「レジリエンス教育」の3つを柱とし、子どもたち一人ひとりの強みや良さに着目しながら、自己肯定感を高め、学力や社会性の向上を目指すものです。

お問い合わせ
義務教育課 TEL: 0776-20-0575
教育総合研究所 TEL: 0776-5812180

福井県版ポジティブ教育プログラム

子どもたちの「幸福を自ら創り出していく力」を育むためのプログラム

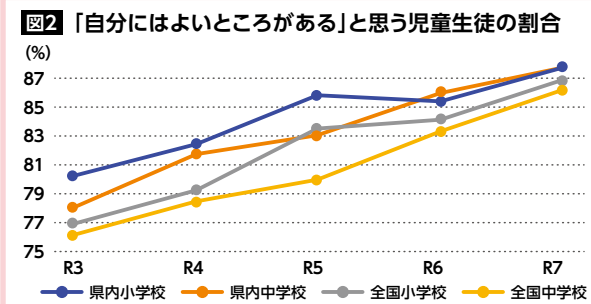
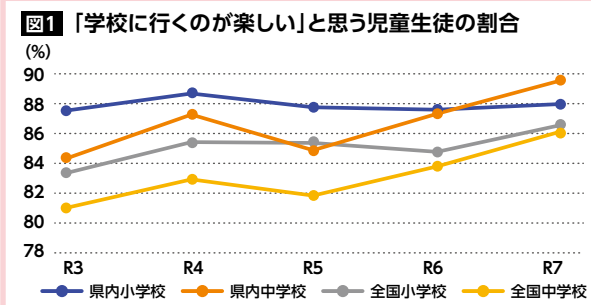
社会性を育て、
いじめ等の予防につながる
ソーシャルスキル教育

仲間同士の認め合い、
支え合いが可能となる
ピア・サポート活動

逆境に負けない
心を育む
レジリエンス教育

学力・体力トップクラス！ さらに“前向き”に育つ福井の子どもたち

「学校に行くのが楽しい」「自分にはよいところがある」と思う児童生徒の割合は、小中学校ともに全国平均を上回っています。



出典：全国学力・学習状況調査（文部科学省）

奥越明成高校（大野市）



講師を務める藤丸教育長

地域の未来を自分ごとに

この日、奥越明成高校で、藤丸伸和教育長による「地域デザイン講座」が行われ、34名の生徒が参加しました。生徒たちは福井県の魅力や課題、解決策について話し合い、模造紙にまとめて教室に掲示。お互いの意見を見ながら、新たな気付きを得ていました。



将来の福井県の姿について話し合う生徒たち

参加した生徒からは「福井県の課題について深く考えることができた」「福井県に残りたいという思いが強くなった」といった声が聞かれ、地域に対する関心や視点が広がっている様子がうかがえました。

最後に、藤丸教育長は、「地域の未来と自分の人生はつながっている。15年後の自分を思い描き、やりたいことを通じて地域に貢献する喜びを見いだしてほしい」と力強くメッセージを贈りました。

本荘小学校（あわら市）



「強みは誰もが持っている」と説明する先生

自分の強みを仲間のために

本荘小学校では、令和6年度から学校全体でポジティブ教育に取り組んでいます。

この日、5年生の教室では、レジリエンス教育の一環として「強みチームすごろく」が行われました。すごろくに書かれたさまざまな課題に対し、子どもたちは、自分の強みを仲間のために使ったり、困った時には仲間に助けを求めたりしながら、楽しんでゴールを目指していました。



チームでゴールを目指す子どもたち

を目標していました。

同校では、学校行事と結び付けたピア・サポート活動にも積極的に取り組み、友だちの話を丁寧に聴き合うことで、お互いを認め合い、安心して意見を言える雰囲気広がっています。

林小百合校長は、「これらの学びを通して、子どもたちが自分を大切にしながら、周りの人とつながる力を育み、これからの時代をたくましく、幸せに歩んでほしい」と話します。

県では、子ども一人ひとりの個性を尊重し、夢や希望、ふくい愛を育む教育を推進しています。地域の人々と協働しながら未来を切り拓く「生きる力」を育む学びが、今、県内各地に広がっています。

若手教員 座談会

イマドキの 先生のホンネ

先生の魅力って、どんなところだろう。
日々、学校の現場で子どもたちと向き合う先生たちが、
「先生」という仕事について語り合いました。

きのした さとし
木下智士先生
勝山中部中学校

たけなが こうだい
竹永耕大先生
勝山高校

ますやま あつこ
増山温子
教職魅力発信ディレクター



こばやし あやの
小林彩乃先生
奥越明成高校

たけかわ ちか
竹川知花先生
奥越特別支援学校

しまだ りな
島田里那先生
成器西小学校

増山 先生という仕事のやりがいを感じるのどんな時ですか。

小林 高校3年生の担任をしています。3年間クラス替えがなく、保護者のみなさんとも信頼関係を築きながら、生徒の成長と一緒に見守ってきました。進路指導は難しい面もありますが、一人ひとりが頑張ってきた成果が進路につながっていく姿を見ると、誇らしい気持ちになります。

竹川 子どもたちが「できたー」と笑顔を見せてくれる瞬間が一番うれしいですね。音楽の授業で合奏の練習をする際、一人ひとりに合った楽譜を用意するなど、大学で学んだ自分の専門性を支援に生かしているのやりがいがあります。

木下 子どもたちの成長を実感できた時が何よりうれしいです。授業が分からない生徒に個別に工夫しながら指導を続けて、理解につながったときは「やってよかったな」と思います。中学生は悩みも多い時期で、すぐに答えを

子どもたちの
笑顔が一番の
やりがいです。



出せないこともあります。昨日までできなかったことが突然できるようになったりするんです。そんな成長を目の当たりにする瞬間が多く、驚きと喜びを感じています。

島田 今は小学1年生の担任をしています。低学年は子どもたちの様子がめまぐるしく変わります。昨日までできなかったことが突然できるようになったりするんです。そんな成長を目の当たりにする瞬間が多く、驚きと喜びを感じています。

先生同士が
自由に語り合える
場をつくりたい。



時に、受験を控える生徒たちのがんばりが卒業後の進路につながるようにサポートしていきたいです。

小林 自由進度学習※に手応えを感じていて、「個別最適な学び」をもっと深めていきたいですね。それから、今日の座談会のように、先生同士が自由に話せる場ですごく大事なと改めて感じました。学校に戻ったら、まず周りの先生方にインタビューをしてみたいです。

※子どもが自分のペースで学び、教員は見守りながら必要な支援を行う学び方

「個別最適な学び」
にチャレンジ
します。



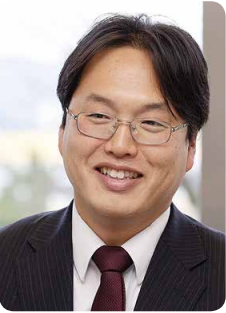
すべての学年を
担任したいです。



竹川 特別支援教育コーディネーターとして、もつと専門性を高めたいと思っています。かつて小学校にいた時は支えてもらう立場でしたが、今は支える側として、周りの経験豊富な先生方からアドバイスをいただきながら、地域の学校の力になれたらうれしいです。

島田 これまで小学3年生や4年生の担任をしてきましたが、初めて1年生を受け持った、新任教師の頃に帰ったような新鮮な気持ちになりました。今

ワークライフ
バランスも大切に
していきたい。



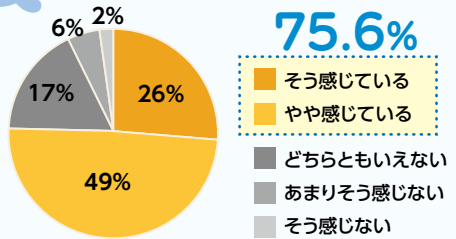
増山 これからチャレンジしたいこと、達成したい目標について教えてください。

木下 教師であると同時に父親でもあるので、できるだけ仕事を効率よく進めて、家族との時間も増やしていきたいですね。当然、生徒たちのために力を尽くすことは変わりません。また、勝山市は中学校の統合も控えています。新たな中学校が子どもたちにとって「楽しいな」と思える場所になるように、自分もできることをしていきたいです。

教職員アンケートから見える 先生たちの“働きがい”

令和7年8月に実施した教職員WEBアンケート(回答数6196人)によると、多くの先生が授業や子どもとの関わりに充実感を持っているようです。

仕事に喜びや楽しさを感じているか



働きがいで重視したもの(上位5つ)

- 第1位 子どもの成長を実感 (4811人)
- 第2位 感動の共有 (3105人)
- 第3位 子どもの人間形成 (2621人)
- 第4位 専門性の活用 (2219人)
- 第5位 自己成長 (2153人)

教職員の新たな挑戦を応援! / ふくい教育チャレンジアワード

児童生徒の学びを深める工夫や働きやすい学校づくりに取り組む個人・グループを表彰します。今年度の受賞者は3月に発表予定。教育現場の熱意と創意にご注目ください!



令和6年度表彰式の様子

Instagram 「ふくい先生 魅力的やざ」

教職員の魅力や教育現場の取り組みを発信しています。



@kyousyoku.f



Vol.10

奥越に春を呼ぶ奇祭 勝山左義長まつり

勝山市



①浮き手の踊るような仕草は見る人も楽しい気分させる ②短冊が飾られて沿道はにぎやか。昨年は県内外から約7万人が訪れた ③生活道具を素材にした「作り物」は毎年人気 ④町内の辻や櫓まわりに掛けられる「絵行燈」 ⑤のろしの合図で14の御神体に一斉に点火。冬空高く火柱が舞い上がる光景は圧巻

「勝山左義長まつり」は県の無形民俗文化財指定の伝統行事で、毎年2月の最終の土日に開かれます。まつりが近づくると市街地にはカラフルな短冊が飾られ、練習する太鼓の音が聞こえてきます。

当日は町内ごとに建てられた櫓の上で、三味線や笛に合わせて太鼓が演奏されます。ベースとなる「地打ち方」と浮かれ踊りながら打つ「浮き方」、太鼓の上に腰掛ける「座り方」の3人が、長襦袢姿で一つの太鼓を囲みます。バチは短く、座り方は頭の後ろにお面を付けるのが決まり。個性的なバチさばきや左右に揺れるお面の動きが観客の笑いを誘います。

ます。以前は打ち手は男性と決まっていたましたが、近年は子どもや女性も増えているそう。子ども対象のコンクールも開かれ、担い手の育成にも力を入れています。

また、日常の生活用具で作った干支などの作品に、洒落のきいた短歌を添えた「作り物」も見どころ。時代や世相を風刺した川柳が描かれた「絵行燈」も、訪れる人を楽しませています。

2日目の夜、弁天河原で行われるどんど焼きでまつりはフィナーレに。この頃から雪深い奥越にも、春の足音が少しずつ聞かれるようになります。

<お問い合わせ>

勝山左義長まつり実行委員会事務局
(勝山市未来創造課)

TEL:0779-88-8114

千年文化について
詳しくはこちら→



勝山左義長まつり 令和8年2月21日(土)、22日(日)

21日(土)

【左義長ばやし】

13時～ 上後区の一歩太鼓に続き各区で開始

【作り物・行燈コンクール】

13時30分～ 区内各所

22日(日)

【子どもばやしコンクール】

10時～ 区内各所

【どんど焼き】

20時～ どんど焼き点火

<無料シャトルバス運行>

勝山駅と本部テント前を無料シャトルバスが電車の時間に合わせて30分間隔で運行

21日/12時24分～17時53分

22日/10時24分～17時53分

<無料駐車場>

勝山市役所ほか

詳細はこちら→



※おはやしは、各地区ごとに休憩時間を交えながらプログラムが組まれています。



山口茜選手に 福井県栄誉賞を贈呈

世界バドミントン選手権大会女子シングルスで、日本勢初となる3度目の優勝を果たした山口茜選手に、11月18日、福井県栄誉賞を贈呈しました。贈呈は、勝山市で開かれた報告会とトークショーに合わせて行われ、山口選手は「これからもみなさんに良い結果を報告できるよう精一杯頑張りたい」と述べました。

福井県栄誉賞はスポーツや文化の分野で顕著な功績を挙げた個人や団体を表彰するもので、これまでに延べ9名と2団体が受賞しています。



北陸三県の女性リーダー研修生 交流会を初開催

県では、企業で働く女性リーダー育成研修「ハッピーキャリア“縁”カレッジ」を実施しており、今年度は過去最多の77社129名が参加しています。

12月19日には、北陸三県の女性リーダー研修生による交流会を福井市内で初めて開催し、三県から27名が参加。事例発表やグルーブトーク、ランチトークを通じて積極的に意見交換し、交流を深めました。参加者からは「同じ課題に取り組む仲間がいると知り励まされた」といった声が寄せられました。

県政トピックス

パリで観光イベント 「ZEN, Alive. Fukui」開催

県では、禅への関心が高いフランスでのインバウンド誘客を目的に、令和4年度から禅をテーマとしたイベントを開催しています。11月27日には、パリで観光イベント「ZEN, Alive. Fukui」を実施し、旅行会社やメディア関係者など約20名が参加。福井県の観光プレゼンテーションやPR動画の上映のほか、焼き鯖寿司や越前そばなどの食と日本酒の提供、伝統工芸品の展示を通じて福井の特色を紹介し、県の魅力を海外に発信する有意義な機会となりました。



受け継がれる匠の技 「福井お宝博」開催

11月22、23日、サンドーム福井で「福井お宝博ー見よっさ、知ろっさ、福井の技ー」を初めて開催しました。ユネスコ無形文化遺産に登録された越前鳥の子紙の紙漉きや敦賀のおぼろ昆布削りの実演のほか、文化財を測量する最新技術も披露。また、文化庁主催の「日本の技フェア」も同時開催され、^{ひわだ}檜皮葺や漆塗り、木造彫刻など、全国の有形・無形文化財の技が紹介され、来場者は職人の高度な技術に見入っていました。



ふくい インフォ

デジタルブック上で📖をタップすると
簡単に関連するホームページにリンクします。

デジタルブックの
詳細はこちらから→



※掲載している内容は変更や中止になる可能性があります。また、定員がある催しは、すでに募集を終了している可能性があります。詳しくは各施設にお問合せください。

自然保護センター

冬の野鳥レストラン

2月28日(土)まで

暖かい室内から、エサ台に集まる野鳥を間近で観察でき、リスなどの小動物が訪れることもあります。雪が降った後の晴れの日がおすすめです。



ミニ展示「自然のなかの『うま』」

3月29日(日)まで

新年の干支にちなんで、名前に『ウマ』がつく昆虫や植物の標本を展示します。

ミニ展示「冬に見られるカモのなかまたち」

3月29日(日)まで

身近な水辺で見られるカモの仲間や水鳥のはく製を展示し、県内に渡来するカモ科鳥類の種類や数について、最新の調査結果を紹介しします。

所 大野市南六呂師169-11-2 問 ☎0779-67-1655 FAX 67-1656
開 9時～17時(入館は16時30分まで) 休 1月26日、2月2、9、12、16、24日

教育博物館

特別展「たいへんよくできました ～賞状と通知表からわかること～」

3月22日(日)まで

賞状や通知表を見ると、当時の子どもたちの学びや学校生活が読み取れます。今に通じるもの、その時代ならではのものを、学業・健康・行動・所見など、テーマごとに紹介します。



【関連イベント】手作りコサージュづくり ㊦

2月21日(土)

①10時～ ②13時30分～ ③15時～

造花を束ねて簡単なコサージュまたはミニブーケを2つ作ります。

定 各回先着10名
受 2月1日(日)～定員に達し次第締切



所 坂井市春江町江留上緑8-1 問 ☎0776-58-2250 FAX 58-2251
開 9時～17時(入館は16時30分まで) 休 1月26日、2月2、9、12、16、24日

こども歴史文化館

昭和遊び達人イベント 「懐かしのスロットレーシング体験」

2月23日(月・祝)までの土日祝

①10時～12時 ②13時～15時30分

昭和40年代に子どもたちの間で大ブームだった「スロットレーシング」を体験できるイベントを開催します。エントランスロビーに再現したサーキットでスロットカーを走らせてみよう！



せっちゃん楽しい紙しばい会

2月15日(日)15時～15時30分

紙芝居の達人・せっちゃんによる、大人も子どもも楽しめる紙しばい会です。どんなお話が聞けるかは、始まってからの楽しみ！お気軽にご参加ください。

所 福井市城東1丁目18-21 問 ☎0776-21-1500 FAX 21-1501
開 9時～17時(入館は16時30分まで)
休 1月26日、2月2、9、12、16、24日

恐竜博物館

チョコレート恐竜あらわる!! 「大好きをつなげる生き方 小山進展」

2月23日(月・祝)まで

パティシエ・ショコラティエの小山進氏が制作した10体のチョコレート恐竜と、恐竜博物館での開催のために新たに制作した福井県の恐竜「フクイバーナトル」1体を展示します。

他 別途常設展の観覧券(日時指定)が必要



所 勝山市村岡町寺尾51-11
問 ☎0779-88-0001 FAX 88-8700
開 9時～17時(入館は16時30分まで)
休 1月26～29日、2月12、25日

県立図書館

ティーンズコーナー「受験生応援!」

2月25日(水)まで

入試シーズンに合わせ、勉強法・リラックス法など受験に役立つ本をはじめ、食事・栄養に関する本など受験生をサポートするご家族向けの本を特集します。

郷土資料コーナー 「魯迅の恩師・藤野厳九郎」

3月25日(水)まで

中国の作家・魯迅が藤野厳九郎を回想した小説「藤野先生」の発表から100年を迎えることに合わせ、藤野厳九郎の生涯や魯迅との関わりを、関連本や展示パネルで紹介しします。

所 福井市下馬町51-11
問 ☎0776-33-8860 FAX 33-8861
開 9時～19時(土日祝は18時まで)
休 1月26日、2月2、9、12、16、24、26日

一乗谷朝倉氏遺跡博物館

トピック展「一乗谷にわ散歩」 ㊦

3月1日(日)まで

初公開資料を含む庭園関係史料等を展示し、一乗谷の多様な庭文化を紹介しします。

料 一般700円、高校生400円、小中学生200円、70歳以上350円

あさみゅーアカデミー 理系目線の 文化財科学講座③「地学・物理学編」 ㊦

2月15日(日)14時～15時

文化財科学専門の学芸員が、地学・物理学の視点で、石や金属でできた文化財について解説しします。

定 先着100名 対 中学生以上

所 福井市安波賀中島町8-10
問 ☎0776-41-7700 FAX 41-7701
開 9時～17時(入館は16時30分まで)
休 1月26日、2月2、9、16、24日

エンゼルランドふくい

節分お楽しみ会

2月1日(日)

①10時～12時 ②13時30分～16時

節分にちなんだいろいろな遊びやゲームを家族や友達同士で楽しみましょう。

対 幼児・小学生 他 未就学児は保護者同伴



所 坂井市春江町東太郎丸3-1
問 ☎0776-51-8000 FAX 51-6666
開 9時30分～17時
休 1月26日、2月2、9、12、16～18、24日

歴史博物館

写真展 「写真でめぐるみなとまち」 ㊦

2月11日(水・祝)まで

館蔵写真を素材として、福井県海沿いに点在する大小の「みなと」を紹介しします。

料 一般100円、高校生以下・70歳以上無料

写真展「福井の仙像 ～阿弥陀如来のすがた～」 ㊦

2月13日(金)～5月12日(火)

福井県に伝わる阿弥陀如来彫像の名品を、さまざまな角度から撮影した写真で紹介しします。

料 一般100円、高校生以下・70歳以上無料

所 福井市大宮2丁目19-15
問 ☎0776-22-4675 FAX 22-4694
開 9時～17時(入館は16時30分まで)
休 1月28日、2月12、25日

県立美術館

特別企画展「水庭に美をあつめて ～佐川美術館コレクション～」 ㊦

2月14日(土)～3月15日(日)

佐川美術館(滋賀県)が有する、日本画家・平山郁夫、彫刻家・佐藤忠良、陶芸家・築直人の作品を、全国で初めて一堂に紹介しします。さらに、今回は特別に国宝・梵鐘も公開しします。

料 一般1300円、高校生700円、小中学生400円

所 福井市文京3丁目16-1
問 ☎0776-25-0452 FAX 25-0459
開 9時～17時(入館は16時30分まで)
休 2月4～13日



国宝 梵鐘(佐川美術館蔵)

若狭歴史博物館

昭和100年記念「ちょっとむかしのくらし展 ～古写真に写された若狭の人々と民俗～」 ㊦

3月15日(日)まで

若狭地域のくらしや風習を写した古写真を中心に、その古写真に写る実物資料を展示しします。近現代の若狭地域の生活や文化をより深く知ることができます。

料 一般310円、高校生以下・70歳以上無料



井田家旧蔵古写真(若狭歴史博物館蔵)

所 小浜市遠敷2丁目104
問 ☎0770-56-0525 FAX 56-4510
開 9時～17時(入館は16時30分まで)
休 1月26日、2月2、9、16、24日

ふるさと文学館

ようこそ文学館へ ～2025年、ふるさと文学館に来館されたみなさん～

3月25日(水)まで

2025年来館した作家や文化人11組のプロフィールや活動を紹介するほか、書籍やサイン色紙を展示しします。



特集展示「福井の冬を描いた文学」

3月25日(水)まで

福井の冬が舞台の文学作品(書籍)を展示・紹介しします。

所 福井市下馬町51-11(県立図書館内)
問 ☎0776-33-8866 FAX 33-8861
開 9時～19時(土日祝は18時まで)
休 1月26日、2月2、9、12、16、24、26日

総合グリーンセンター

花の展示温室 スプリングガーデン

2月18日(水)～4月12日(日)

花の展示温室を、春の卒業・入学をイメージした「スプリングガーデン」に模様替えしします。

緑の教室「庭づくりのポイント」 ㊦

3月7日(土)13時30分～15時30分

木の選び方から植え方、植えた後の管理方法までを学びます。

定 先着30名
受 2月17日(火)～定員に達し次第締切

所 坂井市丸岡町家間15
問 ☎0776-67-0002 FAX 67-0004
開 9時～16時30分
休 1月26日、2月2、9、16、24日

鯖江青年の家

冬の野鳥観察会 ㊦ ㊦

3月7日(土)9時15分～11時45分

日本野鳥の会の方々の方々の指導のもと、青年の会周辺でバードウォッチングを行います。

料 150円/人(保険料等) 対 小学生とその家族
定 15家族(45名程度、応募多数の場合は抽選)
受 2月16日(月)まで



申込は
こちら↓



所 鯖江市上野田町19-1
問 ☎0778-62-1214 FAX 62-1215
開 8時30分～17時15分
休 1月26日、2月2、9、15、16、24日

海浜自然センター

春のイベント「[K]の玉手箱 in KAIHIN自然センター ～知ろう・学ぼう自然のこと～」

3月7日(土)、8日(日)

7種のヨシノボリの展示や科学実験ショー、顕微鏡をつかった生きもの観察、ポリマーアクアリウム作り、気象予報士の村田光広さんの講演会などを行います。

他 一部、有料・事前申込が必要な催しあり



所 若狭町世久見18-2
問 ☎0770-46-1101 FAX 46-9000
開 9時～17時(入館は16時30分まで)
休 1月26日、2月2、9、12、16、24日



2月7日はふるさとの日

県では、置県の日である2月7日を「ふるさとの日」と定め、文化施設の無料開放や関連行事を通じて、ふるさと福井の歴史や文化に触れる機会を提供しています。

無料開放する文化施設

歴史博物館、若狭歴史博物館、一乗谷朝倉氏遺跡博物館、年縞博物館、陶芸館、越前古窯博物館 ※常設展無料開放、一部施設は企画展無料開放

☎定住促進課 ☎0776-20-0665 FAX 20-0632

ふるさとの学びフェア

2月7日(土)13時20分～16時

県内の小中学生が、学校や地域で取り組んでいるふるさと学習の成果発表をします。また、「ふるさと福井CMコンテスト」入賞作品の上映と表彰式を行います。

所 県立大学永平寺キャンパス講堂
(永平寺町松岡兼定島) 他 入退場は自由

☎義務教育課 ☎0776-20-0575 FAX 20-0671



詳細はこちら↓



ふるさと未来講座「経済・産業」 「自産自消のできる社会をつくる ～次代を拓く コングロマリット経営～」

2月7日(土)14時～15時30分

株式会社・学校法人・commons(農協)が連携し、社会全体で“自産自消”を実現する仕組みづくりについてお話しします。農業が持つ無限の可能性を一緒に考えましょう。

講師：株式会社マイファーム
代表取締役 西辻一真氏

所 ①ユー・アイふくい(福井市下六条町)
②若狭図書学習センター(小浜市南川町)

定 ①先着60名 ②先着30名
※②では①の様子を同時配信

受 2月6日(金)まで

詳細はこちら→



☎福井ライフ・アカデミー本部
☎0776-41-4206 FAX 41-4201

壊れたおもちゃを修理します

①2月15日(日)10時～15時(受付13時まで)
②2月15日(日)13時～16時(受付15時まで)

「おもちゃドクター」が壊れたおもちゃを修理します。

所 ①総合グリーンセンターウッドリームフクイ(坂井市丸岡町楽間) ②こども家族館(おおい町成海)

定 ②のみ先着20名

他 部品代が必要な場合があります。②では、不要になったおもちゃも回収します。



☎循環社会推進課
☎0776-20-0317 FAX 20-0679

第4回業界セミナー ～リスクリングに役立つ情報満載～

2月20日(金)13時30分～16時15分

働き方改革やDXなど、今の業界の動向について地元企業が講演します。新年度の職業訓練メニューの説明会や就職相談も行います。

所 敦賀産業技術専門学校(敦賀市道口)

受 2月18日(水)まで

詳細はこちら↓



ハートレーニング
—— 急がば学べ ——

☎敦賀産業技術専門学校
☎0770-22-0143 FAX 22-0164

里山里海湖フォーラム2026

2月21日(土)13時～16時15分
(受付12時30分から)

ふくい里山里海湖活動の表彰のほか、県内外の自然再生協議会による活動実績のミニシンポジウムや研究員による研究発表を行います。

所 福井県教育センター(福井市大手)

他 駐車場がありませんので、公共交通機関をご利用ください。



☎里山里海湖研究所
☎0770-45-3580 FAX 45-3680

消費者トラブルにご注意!

18歳で大人になると、保護者の同意がなくても、自分の意思でさまざまな契約ができてしまいます。

若者に多い消費者トラブル例

- インターネット通販で偽物が届いた
- 簡単に稼げるという副業に登録したら、マニュアル代やサポート費用を請求された
- お試しエステのつもりが、高額なコースを勧められ、契約してしまった



あなたの身近にこんなトラブルが! 若者に多い消費者トラブル例はこちら↓



県HP



国民生活センターHP

困った時はまず相談! 消費者ホットライン「188(いやや)」へお電話を。最寄りの消費生活センターにつながります。

☎消費生活センター ☎0776-22-1102 嶺南消費生活センター ☎0770-52-7830

ふるさと未来講座「自然科学」若狭 「地球沸騰化の時代をどう生きるか ～未来をつくる選択とアクション～」

2月28日(土)13時30分～15時

地球沸騰化と言われる現在の気候変動の現状について学び、これからの社会で求められる考え方や行動の選択肢を探ります。

講師：東海学園大学 教授 杉山範子氏

所 若狭図書学習センター(小浜市南川町)

定 先着30名

受 2月27日(金)まで

詳細はこちら→



☎若狭図書学習センター
☎0770-52-2705 FAX 52-2715

県内企業の女性社員と考える自分らしさ「縁jobオフ会」

2月7日(土)13時～16時30分

自分に向いている業界や業種、女性が活躍する職場を知りたい! 県内企業約10社の先輩社員と交流しながら就活を進めることができます。

所 アオッサ7階 Fスクエア(福井市手寄)

対 大学生等 定 先着30名 他 県外学生には交通費支援あり

詳細はこちら→



県内最大の合同企業説明会「福井の合説」

3月1日(日)12時45分～17時

県内企業約300社が参加する合同企業説明会を開催します。公務員や福祉について聞けるブースもあります。

所 サンドーム福井(越前市瓜生町)

対 2027年卒業予定者を中心とした全学生または既卒(第2新卒)

受 3月1日(日)まで

詳細はこちら→



☎定住促進課 ☎0776-20-0638 FAX 20-0632

「ふく恋」20代対象登録料半額 キャンペーン実施中!

20代独身の方を対象に「ふく恋」マッチングシステムの利用登録料が半額になるキャンペーンを実施しています。この機会に「ふく恋」でお相手探しをはじめませんか。



※県内での結婚を誠実に希望する20歳以上の独身男女(新規登録の方)

料 登録料5千円(通常は1万円)

受 3月31日(火)まで

詳細はこちら→



☎ふくい結婚応援協議会事務局(県民協働課)
☎0776-20-0362 FAX 20-0652

北方領土を考える県民のつどい

1月30日(金)13時30分～15時30分

2月7日の「北方領土の日」に合わせて北方領土問題についての講演会を行います。

所 福井県国際交流会館(福井市宝永)

定 100名程度(当日受付)

「北方領土を知ろう!」 クイズキャンペーン実施中!

北方領土に関するクイズに答えると、抽選で素敵な景品が当たります。

受 2月28日(土)まで

クイズの回答はこちら↓



☎北方領土返還要求運動福井県民会議事務局(インバウンド交流課) ☎0776-28-8820

文書館

くずし字“翻刻”関連展示

4月12日(日)まで

資料翻刻の取り組みについて、翻刻元の資料とともに紹介します。※翻刻とは…くずし字などを読み解いて活字にしていって作業のこと。

「みんなで翻刻」少人数翻刻グループ

2月12日(木)10時～12時

オンラインの市民参加型プロジェクト「みんなで翻刻」に参加して、意見を出し合いながら、資料の翻刻を進めていきます。

他 持ち物:Wi-Fiが使えるパソコンまたはタブレット端末

所 福井市下馬町51-11

☎☎0776-33-8890 FAX 33-8891

開 9時～17時

休 1月26日、2月2、9、12、16、24、26日

年縞博物館

特別展「水月年縞2025」

3月30日(月)まで

2025年夏に行われた水月湖での年縞掘削調査に関連し、堆積物の実物試料の展示のほか、映像と写真パネルで掘削調査の全体像を紹介しています。

料 一般500円、小中高生200円、未就学児無料

他 若狭三方縄文博物館でも関連展示を実施

所 若狭町鳥浜122-12-1

☎☎0770-45-0456 FAX 45-3680

開 9時～17時(入館は16時30分まで)

休 1月27日、2月3、10、17、24日



年縞掘削のようす
(2025年・水月湖)

おすすめサイトをご紹介します!

男性育休の過ごし方を 楽しく学べる! パパ育休体験VRツール



先輩パパ・ママの育休体験談や赤ちゃんのお世話の方法などを、VR空間でリアルにイメージしながら学ぶことができます。はぴりゅうと一緒に育休中の過ごし方を楽しく学ぼう!

詳細はこちら↓



☎こども未来課
☎0776-20-0289 FAX 20-0640

ふくい食材で
おうちごはん

味わおう

福井の旬を

勝山水菜
〔旬の時期…2〜4月〕

冬の水田を有効活用するため、江戸時代頃から栽培されてきた勝山水菜。勝山市の伝統野菜で、「福井百歳やさい」にも選ばれています。寒さに強く、害虫の被害も少ないため、冬の貴重な収穫物として重宝されています。甘さの中にほろ苦さがある特有の味わいは、特に太く伸びた“とう(花の茎がのびたもの)”に詰まっており、火を通すと驚くほど柔らかくなります。

おすすめレシピ

勝山水菜
の肉巻き

調理時間 約20分

作り方

- ① 水菜をさっとゆでて流水に取り、水気をしっかり絞る。キッチンペーパーに巻いてしばらく置く。
- ② 水菜を2株ずつ、豚肉できっちり巻き、塩こしょうをして米粉をふる。
- ③ フライパンにオリーブ油を中火で熱し、②をこんがりと全面焼きつける。
- ④ 食べやすくカットし器に盛る。
- ⑤ フライパンに●を煮詰め、盛り付けた肉巻きにかける。

(レシピ提供:JA福井県)

勝山水菜	1把	●しょうゆ	大さじ1
豚バラ肉	200グラム	●ケチャップ	大さじ1
オリーブ油	大さじ1	●りんご酢	大さじ1
塩こしょう	少々	●砂糖	大さじ1
米粉	大さじ3		

材料(4人分)

読者プレゼント

7名様

応募締切 / 令和8年 2月21日(土)

アンケートにお答えいただいた方の中から抽選でプレゼント!

十割そば粉の
シフォンケーキ(8個入り)

福井県産十割そば粉を使用したやさしい味わいのシフォンケーキです。農業や化学肥料不使用の素材を選び、保存料等の食品添加物は一切使わない、安心安全にこだわった一品です。

応募方法

アンケートの回答と住所・氏名・年齢・性別(任意)・電話番号をご記入の上、郵便はがきまたは県のホームページでご応募ください(お一人1通まで)。

※賞品の発送をもって当選発表に代えさせていただきます。賞品は3月中に発送する予定です。

応募先

〒910-8580 (住所は記載不要)
県広報聴課 NEWSふくい

ホームページ
での応募は
こちらから

アンケート

Q1 NEWSふくいをお読みにになった感想を教えてください。

(1)内容について

1.大変良い 2.良い 3.普通 4.あまり良くない 5.良くない

(2)良かった記事(複数回答可)

1.表紙 2.特集①
3.特集② 4.県政トピックス
5.ふくいインフォ 6.ふくい食材でおうちごはん

Q2 NEWSふくいの入手方法を教えてください。

1.新聞折り込み 2.コンビニ・スーパー
3.インターネット 4.その他(自由記述)

Q3 NEWSふくいで今後取り上げてほしい
県政のテーマを教えてください(自由記述)。

Q4 NEWSふくいへのご意見をお願いします
(自由記述)。

県公式YouTubeチャンネル



「ふく# (タグ)」スタート!

「福井をもっと身近に!」をテーマに、
福井の魅力をたっぷり詰め込んだ動画を
配信しています。ぜひご覧ください!



デジタルブックで配信中!

「NEWSふくい」はデジタルブックでも配信しています。多言語対応や音声読み上げ機能もあります。「Catalog Pocket」のアプリやブラウザ版をご利用ください。



次号はデジタルブックのみ
での発行となります。